

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和6年8月19日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	(一社) 能登半島広域観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 輪島市、七尾市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町	
所在地	石川県輪島市	
設立時期	昭和22年6月16日(平成25年5月1日より一般社団法人化)	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	7人【常勤3人(正職員3人・出向等0人)、非常勤4人】	
代表者(トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 多田 邦彦 (出身組織名) 和倉温泉観光協会	七尾市和倉温泉の多田屋代表取締役会長。和倉温泉観光協会会長としても、地域経済・観光事業の発展に尽力し、本年より能登半島広域観光協会の理事長として能登の観光経済の進行の牽引役として活躍している。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 事業本部長 米谷 涼子 「専従」	能登の観光案内を行い、様々な情報が集約される「能登の旅情報センター」に長年勤務。地域内の多様なネットワークと、旅行者視点の感覚が培われている。
財務責任者(CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 専務理事 楠 茂浩「専従」	長年、七尾商工会議所事務局長として、小規模事業者の支援、地域・観光振興に携わり、また、これまで築いた幅広い人脈を活かし、国、県、市町、団体との対外調整に従事。
旅行商品の造成・販売の責任者(専門人材)	(氏名) 小泉 洋子「専従」	旅行業務取扱管理者の資格を有しており、当協会による旅行商品の造成、販売を担うことで、安定的な運営資金確保の体制を整える。

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	・石川県観光戦略推進部国際観光課（国際観光施策全般） ・石川県観光戦略推進部観光戦略課（県の観光を推進する総合施策） ・石川県企画振興部空港企画課（のと里山空港の利用促進） ・石川県農林水産部里山振興室（世界農業遺産能登の里山里海の活用） ・石川県教育委員会事務局 文化財課（日本遺産の活用） ・七尾市産業部交流推進課（七尾市の観光振興） ・輪島市産業部観光課（輪島市の観光振興） ・珠洲市観光交流課（珠洲市の観光振興） ・羽咋市産業建設部商工観光課（羽咋市の観光振興） ・志賀町商工観光課（志賀町の観光振興） ・宝達志水町商工観光課（宝達志水町の観光振興） ・中能登町企画情報課（中能登町の観光振興） ・穴水町観光交流課（穴水町の観光振興） ・能登町ふるさと振興課（能登町の観光振興） 各市町 企画部門、定住・移住部門、商工部門、農林部門、建設部門、教育部門
連携する事業者名及び役割	一般社団法人能登半島広域観光協会社員 1. DMO・観光協会・観光団体 ・一般社団法人なお・なかのとDMO ・和倉温泉観光協会 ・能登島観光協会 ・一般社団法人輪島市観光協会 ・門前町観光協会 ・曾々木観光協会 ・特定非営利活動法人能登すずなり ・はくい市観光協会 ・中能登町観光協会 ・穴水町観光物産協会 ・一般社団法人志賀町観光協会 ・宝達志水町観光協会 ・能登町観光協会 2. 商環境改善、産業観光 ・七尾商工会議所 ・輪島商工会議所 ・珠洲商工会議所 ・羽咋市商工会 ・能登鹿北商工会 ・中能登町商工会 ・穴水町商工会 ・志賀町商工会 ・富来商工会 ・門前町商工会 ・宝達志水町商工会 ・能登町商工会 3. 地域交通

- ・全日本空輸株式会社金沢支店
 - ・西日本旅客鉄道株式会社金沢支社
 - ・のと鉄道株式会社
 - ・北鉄能登バス株式会社
 - ・公益社団法人石川県バス協会
 - ・石川県レンタカー協会
 - ・一般社団法人石川県タクシー協会
 - ・株式会社丸一観光
 - ・石川交通株式会社
 - ・能登島交通株式会社
 - ・北鉄奥能登バス株式会社
 - ・港タクシー株式会社
 - ・スズ交通株式会社
 - ・有限会社能登金剛交通
 - ・株式会社中島タクシー
 - ・有限会社恋路観光バス
 - ・有限会社めだか交通
4. 宿泊施設・温泉
- ・和倉温泉旅館協同組合
 - ・輪島温泉開発株式会社
 - ・春蘭の里実行委員会
 - ・和倉温泉合資会社
 - ・ホテルこうしゅうえん
 - ・穴水町国民保養センターキャッスル真名井
 - ・ビューサンセット
 - ・能登島宿せがわ
 - ・谷野旅館
 - ・珠洲鉢ヶ崎ホテル
 - ・株式会社いこいの村能登半島
5. 文化財
- ・時国家
 - ・気多大社
 - ・大本山總持寺祖院
 - ・妙成寺
 - ・永光寺
6. 広域連携
- ・公益社団法人石川県観光連盟
 - ・一般社団法人昇龍道ドラゴンルート推進協議会
 - ・一般社団法人氷見市観光協会
 - ・NPO 法人能登ネットワーク
7. 地域連携
- ・能登DMC合同会社
 - ・一般社団法人のとくまの
8. 飲食・物産
- ・宗玄酒造株式会社

- ・ 輪島漆器商工業協同組合
- ・ 株式会社香島津
- ・ 能登千里浜レストハウス
- ・ 和倉温泉信寿司
- ・ 有限会社大根音松商店
- ・ 蛇之目寿司
- ・ 有限会社もりやま
- ・ 株式会社五島屋
- ・ しおやす漆器工房
- ・ 株式会社輪島屋善仁
- ・ 有限会社輪風堂
- ・ 手づくりの店すずき
- ・ 庄屋の館
- ・ 有限会社新海塩産業
- ・ いも菓子泉谷
- ・ チャンコ鍋・一品料理力
- ・ 寺岡畜産株式会社
- ・ 株式会社マルガー
- ・ Heart&Beer 日本海倶楽部
- ・ 能登ワイン株式会社
- ・ 駅前阿づま寿し
- ・ かき処海
- ・ 株式会社夢のと
- ・ 輪島塗太王
- ・ 株式会社コスモ・フーズシステム
- ・ 輪島キリモト
- ・ 数馬酒造株式会社
- ・ 249
- ・ 株式会社コクブ
- ・ 株式会社中島ストアー
- ・ 炭火ダイニング ike/助八水産
- ・ 合同会社望海

9. アクティビティ

- ・ 能登ゴルフ倶楽部
- ・ 能登島ゴルフアンドカントリークラブ
- ・ 能登金剛遊覧船有限会社
- ・ 能登島ダイビングリゾート
- ・ ザ・カントリークラブ・能登

10. 観光施設、美術館

- ・ 公益財団法人輪島漆芸美術館
- ・ 公益社団法人七尾美術財団
- ・ 公益財団法人七尾城址文化事業団
- ・ 株式会社創生ななお
- ・ 和倉昭和博物館とおもちゃ館
- ・ 宇宙科学博物館コスモアイル羽咋
- ・ のとじま臨海公園水族館

11. 金融

	・のと共栄信用金庫 ・興能信用金庫				
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】①、② ① 能登半島広域観光協会は一般社団法人であり、法人としての重要な事案については「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づく、総会（年1回）及び理事会（年4回程度）において意思決定を行っている。会員には、能登半島の9市町の行政、観光協会・DMO、商工会議所・商工会、交通事業者等、観光に関連する多様な団体の代表者が参画する形で構成されている。 ② これまで、地域の事業者（観光団体経済団体、宿泊事業者、交通事業者、飲食事業者等）をメンバーとしたワーキンググループ「能登ツーリズムミーティング」を設置し、事業者の連携、定期的な情報共有、情勢等のインプット、能登全体の面的な事業立案を行ってきた。令和5年度は、次世代を担う観光事業者を中心に「能登マーケティング会議」を開催し、能登の将来の観光振興の企画検討を行う場を設置した。 その他、能登における観光移動の課題を解決する組織として交通、観光関連事業者、行政機関などの関係者を中心とした能登 MaaS 推進協議会を設立しており、講演会の開催等により情報共有を図る。				
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	観光誘客の重要性の啓発を図るため、能登観光戦略セミナー（R2年度2回）の開催や、デジタル活用セミナー（R3年度1回）を開催。 ニューノーマル時代における自然環境への配慮や地域社会への貢献を重視した「レスポンスブルツーリズム（責任ある観光）」の推進を目的とし、域外からの訪問者に対する地域住民による差別的行動などの大きなゆがみを生むことなく、地元住民や自然環境、地域の文化を尊重し、敬意を払ってくれる観光客を呼び込むためレスポンスブルツーリズムに取り組む各地の事例を紹介しながら、地域住民や観光客を含む関係者全員が継続して満足できるサイクルを生み出すためのセミナー「With/After コロナ時代の能登地域への誘客セミナー」（R3年度2回）を実施。受け入れ側である地域住民の意識向上を図る。 また、この先のインバウンドの増加等を見据えた地域の受け入れ環境向上への対策として「地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修」（R2年度）を実施。 今後も、継続的に地域住民に対する意識啓発の取り組みを実施する。				
法人のこれまでの活動実績	【活動の概要】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> 【毎年度】 ・情報発信及び広報事業 パンフレット等紙媒体の定期発行・地域内の観光事業者及び関連団体への配布及びHP・SNS等を用いた電子媒体での観光情報の発信・広報を実施。 ・観光誘客宣伝の実施 国内に対しては関連団体と連携し観光誘客宣伝・商談会・関係者招聘等を実施するとともに、インバウンドについては新規海外市場開拓を目的とし商談会への参加。また、各種国内外団体の受け入れにも努めている。 【R2年度】 ・ホームページリニューアル ・能登半島 with コロナの観光PR動画作成・発信 【R4年度】 </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	【毎年度】 ・情報発信及び広報事業 パンフレット等紙媒体の定期発行・地域内の観光事業者及び関連団体への配布及びHP・SNS等を用いた電子媒体での観光情報の発信・広報を実施。 ・観光誘客宣伝の実施 国内に対しては関連団体と連携し観光誘客宣伝・商談会・関係者招聘等を実施するとともに、インバウンドについては新規海外市場開拓を目的とし商談会への参加。また、各種国内外団体の受け入れにも努めている。 【R2年度】 ・ホームページリニューアル ・能登半島 with コロナの観光PR動画作成・発信 【R4年度】
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	【毎年度】 ・情報発信及び広報事業 パンフレット等紙媒体の定期発行・地域内の観光事業者及び関連団体への配布及びHP・SNS等を用いた電子媒体での観光情報の発信・広報を実施。 ・観光誘客宣伝の実施 国内に対しては関連団体と連携し観光誘客宣伝・商談会・関係者招聘等を実施するとともに、インバウンドについては新規海外市場開拓を目的とし商談会への参加。また、各種国内外団体の受け入れにも努めている。 【R2年度】 ・ホームページリニューアル ・能登半島 with コロナの観光PR動画作成・発信 【R4年度】				

		・金沢市と連携した PR 動画の作成・発信
	受入環境の整備	【毎年度】 ・JR 金沢駅に能登を専門に案内する観光案内所「能登デスク」を運営。 ・のと里山空港の観光案内所「能登の旅情報センター」において能登の観光の情報発信・案内等を行う。 【R2 年度事業】 ・能登観光戦略セミナー（2 回） ・能登における with コロナ時代の自然・文化・社会等に加えて地域貢献に高い関心のある観光客の誘客に向けた基礎調査事業 ・能登 MaaS 研究会（3 回） 域内での交通における課題と他地域の取り組み事例、MaaS 推進の可能性についての研究を行う。 【R3 年度事業】 ・“生活文化観光 “ 加賀・能登伝統の文化体験を『花嫁のれん』に学ぶ、ウェディングツーリズム実証事業 ドラマ「花嫁のれん」の著作権、著作権をフリーに活用し QR コード映像制作、商品開発、モニターツアー、トークイベントなどの実証事業を通して、アジア各国のメディアを招聘しての国際会議の誘致、さらにドラマ「花嫁のれん」の放映により能登におけるコンテンツツーリズムの可能性を探る。 ・西日本ジェイアールバス能登定期観光バス「能登路」運行開始より地元関係者の意見交換により受入れ環境の整備と情報発信を実施。 ・能登 MaaS 幹事会（2 回） 域内での交通における課題と他地域の取り組み事例、MaaS 推進の可能性について引き続き研究を行う。 【R4 年度事業】 ・持続可能な観光地経営モデル形成事業 持続可能な観光地経営を実現するための体制の構築を行う。 ・多言語解説整備支援事業 地域における「面的」な観光ストーリーを外国人旅行者にも分かりやすく伝えるため、英語ネイティブの専門人材を地域に派遣し、外国人の目線による解説文作成等を行う。 ・令和 4 年度地域資源を活かした外国人個人旅行者向けの魅力的な観光コンテンツ造成事業 外国人個人旅行者向け観光コンテンツの造成、受入環境の整備及び流通環境の整備を行う。 ・スポーツツーリズムコンテンツ創出事業「能登半島サイクルツーリズム推進事業」 従来型の能登観光ルートから外れた魅力的資源を楽しむサイクリングの受入環境現状調査、モデルコースの検討調査等を行う。 【R5 年度事業】 ・多言語解説整備支援事業 地域における「面的」な観光ストーリーを外国人旅行者にも分かりやすく伝えるため、専門人材を地域に派遣し、外国人の目線による解説文作成等を行う。

		・インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 外国人個人旅行者向け観光コンテンツの造成、受入環境の整備及び流通環境の整備を行う。
	観光資源の磨き上げ	【毎年度】 ・能登お宝めぐり 能登ふるさと博事業と連携し、能登地域の神社・寺院のお宝を巡る事業による着地型観光の企画・運営を実施。 【R2 年度事業】 ・西日本ジェイアールバスによる能登定期観光バス新規路線のコースの調査・研究 【R3 年度事業】 ・令和3年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）「能登地域における交通事業者と連携したレスポンスブルーツーリズム推進に関する調査・実証事業」 レスポンスブルーツーリズムへの意識が高い訪日外国人旅行者を顧客層とするランドオペレーターを招請しトライアルツアーおよびレスポンスブルーツーリズムに資するサービス提供に向けた研修・実地指導を実施。 ・令和3年度地域の観光コンテンツを活用したアドベンチャーツーリズムのモデルツアー造成等事業「金沢能登広域の文化と自然をつなぐ富裕層アドベンチャーツーリズム造成事業」 金沢市と能登地域が広域デスティネーションとして連携し、富裕層市場に向けた「自然」「文化体験」「アクティビティ」の3要素で構成するアドベンチャーツーリズムについて、新たな魅力あるモデルツアーを造成し、欧米豪の富裕層外国人旅行者を顧客層とするランドオペレーターを招請しモニターツアー及び受入環境整備のためのガイド研修を実施。 ・既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業 ハイクラス層（特にシニア層）をターゲットとし、拠点整備、旅行商品造成、販売促進を行うためハイヤー事業者と連携したファムトリップを実施。 ・能登における発酵食文化の発掘・発信事業 能登の発酵食に関する調査研究を行いながら、発酵食に関するストーリーを若い世代や外国人が受け取りやすい形でコンテンツ化を行い、登録文化財を目指しながら新たな観光素材としての可能性を探る。 【R4 年度事業】 ・地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業「能登の祭りと食の共創型コンテンツデザインプロジェクト」 日本遺産に登録されている「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」をはじめとする能登の祭りをテーマに、WEBサイトや動画による情報発信、お祭りバスと現地ガイドによる周遊促進、地域内の人と地域外の人が共に観光コンテンツをデザインする共創型コンテンツデザインを行う。 ・観光再開・拡大に向けた文化観光コンテンツの充実事業

		欧米豪のモダンラグジュアリー層をターゲットに、總持寺と船主集落の重伝建である黒島地区において、「禅」にまつわる「食」「アート」「まちなみ」「工芸」を基軸に、自己と向き合うエクスクルーシブなコンテンツ開発と環境整備により、高付加価値化を目指す。 ・令和4年度サステナブルな観光コンテンツ強化事業 金沢能登広域での新しいサステナブル観光コンテンツ強化事業で新規コンテンツの開発及びモデルツアーの造成やガイドの育成等を行う。 【R5年度事業】 ・お祭りバス&ローカルガイドツアー 日本遺産に登録されている「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」を見学する地元ガイド付きツアーを開催し、周遊促進を図る。																							
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	【定量的な評価】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015 年</th> <th>2019 年</th> <th>2021 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・能登地域の年間入込客数</td> <td>820.3 万人</td> <td>→ 768 万人</td> <td>400.3 万人</td> </tr> <tr> <td>・能登地域宿泊入込客数</td> <td>190.3 万人</td> <td>→ 160.8 万人</td> <td>84.0 万人</td> </tr> <tr> <td>・和倉温泉宿泊者数</td> <td>89.5 万人</td> <td>→ 76 万人</td> <td>35.1 万人</td> </tr> <tr> <td>・輪島温泉郷宿泊者数</td> <td>16.7 万人</td> <td>→ 13.3 万人</td> <td>8.4 万人</td> </tr> <tr> <td>・宿泊施設数</td> <td>264 軒</td> <td>→ 279 軒</td> <td>315 軒</td> </tr> </tbody> </table> 【実施体制の概要】 （一社）能登半島広域観光協会が母体となり、行政、観光協会、経済団体、観光事業者のみならず、交通事業者、商工業等多様な関係者が参画する官民が密接に連携した運営を実施。 【実施体制図】		2015 年	2019 年	2021 年	・能登地域の年間入込客数	820.3 万人	→ 768 万人	400.3 万人	・能登地域宿泊入込客数	190.3 万人	→ 160.8 万人	84.0 万人	・和倉温泉宿泊者数	89.5 万人	→ 76 万人	35.1 万人	・輪島温泉郷宿泊者数	16.7 万人	→ 13.3 万人	8.4 万人	・宿泊施設数	264 軒	→ 279 軒	315 軒
	2015 年	2019 年	2021 年																						
・能登地域の年間入込客数	820.3 万人	→ 768 万人	400.3 万人																						
・能登地域宿泊入込客数	190.3 万人	→ 160.8 万人	84.0 万人																						
・和倉温泉宿泊者数	89.5 万人	→ 76 万人	35.1 万人																						
・輪島温泉郷宿泊者数	16.7 万人	→ 13.3 万人	8.4 万人																						
・宿泊施設数	264 軒	→ 279 軒	315 軒																						

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

能登地域は、石川県北部に位置する、日本海に突出した半島部であり、4市5町にまたがる地域である。地形は、低山地と丘陵が広がる内陸部と、切り立った断崖が特徴の外浦と、波穏やかな内浦に分かれる海岸部により構成しており、四季の移ろいがはっきりと感じられる。

能登半島広域観光協会の前身である能登半島観光協会が発足した昭和22年当初から、現在の4市5町にあたる範囲を該当区域として設定し活動を続けてきた。2011年に同区域4市5町が「国際連合食糧農業機関（FAO）」に世界農業遺産（GIAHS）「能登の里山里海」として国内で初めて認定されたように、世界的にみても「能登」はひとつの地域として認められている。

能登地域は、海岸風景（シースケープ）、里山風景（ランドスケープ）を中心とする自然景観、能登固有の歴史・民俗・伝統産業などの資源が豊富な地域であり、一つの文化圏としての魅力を有する地域として、国内での「能登半島」の認知度は高いと言える。こうした能登地域独自の地域資源を保全活用する観光産業の振興およびマネジメントについて、4市5町と連携しながら能登全体の「総合力」

を高め、海外への「NOTO」の国際競争力の高い観光地形成に取り組んでいくためには、当該区域設定が適当である。

【観光客の実態等】

単位：千人

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
観光入込客数	7,743	7,681	4,332	4,003	5,423
宿泊客数	1,714	1,608	974	840	1,167
日帰り客数	6,029	6,073	3,358	3,163	4,255

統計からみた石川県の観光より

H27 年（2015 年）の北陸新幹線金沢開業以降、多少の減少は見られるものの、安定した観光入込客数を維持していたが、令和 2 年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、対前年比 56.4%と能登地域においても大きな影響を受けた。令和 4 年は、回復基調にあった。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

日本で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」に代表される豊かな自然や、風土に育まれた豊富な海産物や農産物に恵まれており、ユネスコの無形文化遺産である「奥能登のあえのこと」、「能登のアマメハギ」、「青柏祭の曳山行事」や日本遺産「灯（あか）り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」を代表とした祭礼、輪島塗や珠洲焼等の伝統工芸等、日本の原風景が残る。

※令和 6 年能登半島地震の影響により、観光資源の状況に変化が生じている

区分	観光資源
温泉	和倉温泉、輪島温泉郷、やなぎだ温泉、縄文真脇温泉、祿剛崎温泉、葭ヶ浦温泉
商業施設	道の駅能登食祭市場、道の駅のとじま交流市場、道の駅ころ柿の里しか、道の駅とぎ海街道、道の駅のと千里浜、能登千里浜レストハウス、道の駅織姫の里なかのと、道の駅あなみず、道の駅桜峠、イカの駅つくモール、道の駅すず塩田村、道の駅狼煙、道の駅すずなり、道の駅千枚田ポケットパーク、道の駅輪島ふらっと訪夢、道の駅赤神、道の駅のと里山空港
観光施設・美術館・博物館	石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、のと里山里海ミュージアム、能登さいはて資料館、七輪の里珪藻土資料館、珠洲市陶芸センター、須須神社宝物殿、珠洲焼資料館、石川県海洋漁業科学館、のと海洋ふれあいセンター、真脇遺跡縄文館、石川県輪島漆芸美術館、輪島キリコ会館、永井豪記念館、南惣美術館、輪島塗会館、能登長寿大仏、穴水町歴史民俗資料館、能登中居鋳物館、和倉昭和博物館とおもちゃ館、七尾城址資料館・懐古館、祭り会館、花嫁のれん館、雨の宮能登王墓の館、石動山資料館、宇宙科学博物館コスモアイル羽咋、羽咋歴史民俗資料館、能登演劇堂
キャンプ・海水浴場	木ノ浦野営場、鉢ヶ崎野営場・オートキャンプ場、鉢ヶ崎海水浴場、見付園地野営場、見付海水浴場、袖ヶ浜キャンプ場、袖ヶ浜海水浴場、輪島エコロジーキャンプ場、健康の森オートキャンプ場、皆月青少年旅行村、琴ヶ浜海水浴場、能登赤崎モビレージ、九里川尻湾野営場、九十九湾園地野営場、五色ヶ浜海水浴場、恋路海水浴場、大島キャンプ場、大島、能登リゾートエリア増穂浦、所司原キャンプ場、マリンパーク海水浴場、能登島家族旅行村 We ランド、勝尾崎キャンプ場、八ヶ崎海水浴

	場、松島オートキャンプ場、松島海水浴場、鶴浦海水浴場、ハートランドヒルズ in 能登@いおり、国立能登青少年交流の家キャンプ場、なぎさモビレジキャンプ場、休暇村能登千里浜キャンプ場、千里浜、眉丈台地自然緑地公園ふれあいキャンプ場、今浜海水浴場
自然・体験	禄剛崎、見附島、垂水の滝、窓岩、千体地藏、のと猿山雪割草のみち、九十九湾、ヤセの断崖、義経の舟隠し、機貝岩、巖門、不動滝、千里浜なぎさドライブウェイ、宝達山、春蘭の里、能登金剛遊覧船、九十九湾海域観光遊覧船、イカの駅つくモール遊覧船、イルカウォッチング、カヌー、SUP、スキューバダイビング、ブルーベリー狩り（やなぎだブルーベリー園、武藤農園等）、いちご狩り（赤崎いちご生産組合・トレジャーふぁーむ）、栗拾い（東井栗園等）、海釣り・イカ釣り（能登島、輪島）、能登仁行和紙体験、マインドフルネス体験、抒情書、能登島サイクリング、輪島塗沈金・蒔絵体験
文化・歴史	揚げ浜塩田角花家、白山神社、平時忠卿及びその一族の墳、珠洲陶器窯跡、黒丸家、時国家、輪島朝市、中段の板碑、大沢・上大沢の間垣集落景観、阿岸本誓寺、大本山總持寺祖院、輪島市天領黒島角海家、黒島地区伝統的建造物群保存地区、白米の千枚田、天領庄屋中谷家、真脇遺跡、宇出津崎山縄文遺跡、祭祀遺跡石仏山、明泉寺、来迎寺、中居さとの道、七尾城跡、能登国分寺、座主家、久麻加夫都阿良加志比古神社、藤津比古神社、明治の館、赤蔵山、長齡寺、長楽寺、上町マンダラ古墳群、須曾蝦夷穴古墳、院内勅使塚古墳、雨の宮古墳群、石動山、永光寺、気多大社、豊財院、妙成寺、寺家遺跡、吉崎・次場遺跡、柴垣古墳群、松尾神社、地頭町中世墳墓窟（やぐら）群、雄谷家、旧福浦灯台、天領大庄屋「平家」、散田金谷古墳、加賀藩十村役喜多家、加賀藩十村役岡部家、末森城跡、御館館跡
祭礼	青柏祭（ユネスコ無形文化遺産）、お熊甲祭り、鶴祭り、とも旗祭り、不動滝の滝開き、黒島天領祭り、あえのこと（ユネスコ無形文化遺産）、アマメハギ（ユネスコ無形文化遺産）、日本遺産能登のキリコ祭り、曳山祭、蛇の目神事、三引獅子舞、曳山奉幣祭、宝達山開山祭、住吉大祭、石動山開山祭、堀松綱引き祭り、大福寺まつり、山王祭り、酒見大祭、七面様祭、福浦祭、鎌打ち神事、甲曳き舟祭り、川渡し神事、いどり祭り、ぱっこ祭り、どぶろく祭り、ぞんべら祭り、万歳楽土、もっそう祭り、砂取節まつり、三夜踊り、唐戸山神事相撲
食	天然塩、いしり・いりる、コシヒカリ、神子原米、能登牛、輪島そうめん、能登の酒蔵めぐり、どぶろく【能登野菜】のとてまり（のと115）、能登すいか、中島菜、能登白ねぎ、能登金時、沢野ごぼう、神子原くわい、小菊かぼちゃ【野菜・果物】能登大納言、大浜大豆、宝達葛、山菜、赤崎いちご、崎山いちご、ブルーベリー、能登くり、ルビーロマン、黒蜜姫（いちじく）、紋平柿、ころ柿【海産物】加能蟹、香箱蟹、能登寒ぶり、能登かき、天然岩がき、能登なまこ、いさざ、このわた・くちこ、あんこう、海女採りあわび、さざえ、もずく、天然岩のり、カジメ【料理】能登丼、西能登おもてなし丼、すし王国能登七尾、輪島ふぐ、羽喰怪鳥料理、宝達志水オムライス、門前そば、中能登ぼたん鍋、かぶら寿司、なれずし【菓子】えがらまんじゅう、柚餅子、おだまき、さざえ最中、いも菓子、大豆あめ
イベント	あわびまつり、食祭楽市、いさざまつり、さざえまつり、牛まつり、能登半島最先端の灯り、西能登里浜イルミネーションときめき桜貝廊下、心むすび大祭、御祓川まつり、あじさい花灯り回廊、田鶴浜あかりまつり、はくい花火大会、唐戸山相撲神事相撲、ひがんの灯り、御陣乗太鼓実演、花嫁のれん展、のとキリシマツツジオープンガーデン、いするぎ

	ウォーキング、大谷川鯉のぼり川渡し、小丸山さくらまつり、花見だよ in 能登さくら駅、千枚田田植えイベント、SSTR、千里浜砂像、輪島市民まつり、能登よさこい祭り、モンテレージャズフェスティバル in 能登、七尾港まつり、和倉温泉夏花火、YOSAKOI ソーラン日本海、ツール・ド・のと 400、長田萬燈祭、山の寺の日、雨の宮古墳まつり、珠洲焼まつり、千枚田あぜのきらめき、輪島ふぐまつり、中能登町トレジャートレイルラン、輪島かにまつり、くわい・そばまつり、寒水大荒行、珠洲あんこう祭り、のと寒ぶりまつり、能登島ごっつおまつり、雪中ジャンボかきまつり、輪島塗ありがとう市、にぎわい大市、食祭「珠洲まるかじり」、七尾湾能登かき祭り、織姫グルメまつり、万葉の里マラソン、珠洲椿フェスティバル、能登雪割草・門前そばの市、宝浪漫マラソン、白米千枚田稲刈りイベント、トライアスロン珠洲大会、奥能登国際芸術祭
--	--

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

宿泊施設	旅館		ホテル		簡易宿所		会社・団体の 宿泊所		合計	
地域	軒数	収容 人員	軒数	収容 人員	軒数	収容 人員	軒数	収容 人員	軒数	収容 人員
七尾市	35	6,855	10	1,001	59	1,074	1	70	105	9,000
輪島市	13	1,039	3	579	30	536	0	0	46	2,154
珠洲市	13	586	1	120	25	504	0	0	39	1,210
羽咋市	3	78	6	399	11	683	0	0	20	1,160
志賀町	3	268	6	841	32	929	0	0	41	2,038
宝達志水町	2	105	0	0	4	55	0	0	6	160
中能登町	0	0	0	0	8	239	0	0	8	239
穴水町	3	48	1	42	8	122	1	80	13	292
能登町	10	549	0	0	28	862	1	15	39	1,426
計	82	9,528	27	2,982	205	5,004	3	165	317	17,679

統計からみた石川県の観光 令和4年より

※令和6年能登半島地震の影響により、宿泊施設の営業状況はこのとおりではない

【利便性：区域までの交通、域内交通】

1. 空路

(1) 羽田空港 ～ のと里山空港 約60分

のと里山空港からは発着に合わせて運行している乗り合いタクシー「ふるさとタクシー」の利用により定額運賃で能登各地へ接続が可能。

(2) 羽田空港 ～ 小松空港 約65分

小松空港から能登地域までは車で約1時間～3時間

(3) 羽田空港 ～ 富山きときと空港 約60分

富山きときと空港から車で約1時間～2時間

のと里山空港については、羽田便に加え、台北からのチャーター便が運航されていた実績有。

2. 鉄路

平成27年3月の北陸新幹線金沢開業により、三大都市圏全てから金沢まで約2時間半で結ばれるようになり首都圏からのアクセスが向上されたが、令和5年度末に開業した北陸新幹線敦賀延伸に伴い、大阪・名古屋方面の在来線特急の直通運転が廃止。

平成 17 年 4 月にのと鉄道の穴水～蛸島間が全線廃止となり、穴水町以北への鉄道でのアクセスはできない。

- (1) 東京方面から 北陸新幹線(金沢駅下車)、七尾線に乗り換え、七尾～穴水間はのと鉄道を利用 約 3 時間 30 分～4 時間 30 分
- (2) 名古屋方面から 東海道新幹線(米原駅下車)、特急「しらさぎ」(敦賀駅下車)、北陸新幹線に乗り換え、金沢駅下車。さらに七尾線に乗り換え、七尾～穴水間はのと鉄道を利用 約 5 時間～7 時間
- (3) 大阪方面から 特急「サンダーバード」(敦賀駅下車)、北陸新幹線に乗り換え、金沢駅下車。さらに七尾線に乗り換え、七尾～穴水間はのと鉄道を利用 約 3 時間 30～4 時間 10 分

3. 陸路

道路については、平成 25 年 3 月に無料化された金沢と能登を結ぶ「のと里山海道」や北陸新幹線金沢開業に合わせて開通した能登地域と三大都市圏を結ぶ「能越自動車道七尾氷見道路」などの道路網が充実している。

- (1) 東京方面から 関越自動車道(若しくは中央自動車道、長野自動車道、上信越自動車道)、～北陸自動車道～能越自動車道～のと里山海道 約 6 時間～7 時間
- (2) 名古屋方面から 名神自動車道～東海北陸自動車道～能越自動車道～のと里山海道 約 3 時間 30 分～4 時間 30 分
- (3) 大阪方面から 名神自動車道～北陸自動車道～のと里山海道 約 5 時間～6 時間
- (4) 富山県高岡方面から わくライナー(高岡⇄和倉温泉[特急バス]) 約 1 時間 10 分
- (5) 金沢から 輪島特急線、珠洲特急線、珠洲宇出津特急線、富来急行線 約 2 時間～3 時間
その他、定期観光バスが運行

※令和 6 年能登半島地震の影響により、アクセス状況はこのとおりではない

〔アクセス図〕



【外国人観光客への対応】

能登の年間の外国人延べ宿泊者数は約 4 万人(令和元年)となっており、石川県全体での外国人延べ宿泊者数約 76 万人(令和元年)の 5%程度に留まっている。また、従来のブランドの高さや最近の取り組みにより、金沢では平成 26 年から令和元年にかけて 298%の伸び率、加賀でも 2 倍近くの 189%の伸び率を記録している一方、能登はそれらよりも低い 131%の伸び率となっている(石川県国際観光課「令和 2 年度石川県インバウンドセミナー」より)。すでに金沢まで多くの外国人観光客が来ていることから能登には一定のアドバンテージがあると考えられる。こうした状況を踏まえ、国内外への積極的な情報発信のほか、インバウンド対応能力強化研修等の受入環境整備などの取り組みを行ってきた。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	旅行者向けのアンケート調査及び各種統計データの活用。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	石川県統計情報及び能登 9 市町統計データの活用。
来訪者満足度	来訪者の満足(不満足)に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	旅行者向けのアンケート調査の実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	旅行者向けのアンケート調査の実施。
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	域内観光サイトの PV 数の収集。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	アンケート調査を自主事業として実施。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

能登地域では、都市部への人口流出、過疎化、少子高齢化が進んでいる。現在人口の 4 割以上が 65 歳以上であり、長年受け継がれてきた、輪島塗を代表とする伝統技術、日本遺産に認定されている「能登のキリコ祭り」等の伝統的な祭礼等が継承の危機を迎えている。また、H17 年(2005 年)の能登線の穴水-蛸島間全線廃止以降、路線バス等の交通網も年々縮小され、公共交通での移動が難しく、免許返納後の域内移動も課題のひとつとなっている。

H27 年(2015 年)春の北陸新幹線金沢開業以降、石川県を訪れる観光客は増加し、毎年約 2,500 万人で推移しており、そのうち約 7 割は金沢地域・加賀地域における滞在で、能登地域の滞在は約 3 割となっているものの、その来訪者数は減少傾向であり、持続可能な観光地として適切なターゲット設定やマーケティングに基づく国内外からの誘客の取り組みの展開が今後の課題である。

こうした中、令和 6 年能登半島地震の発災は、能登の観光産業にとっても影響甚大であり、特に奥能登地域の宿泊施設をはじめ、震災前の営業状況にはほど通い。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？ ・半島という独自地形への誘因魅力 ・能登エリア全体の GIAHS 認定 ・里山里海の自然、生活、祭礼の多様性と稀少価値 ・農・海産物や食文化 ・輪島塗、七尾仏壇等の伝統産業 ・温泉資源 ・総持寺祖院、北前船ゆかりの重要伝統的建造物群保存地区等の歴史資源 ・羽田から1時間でアクセスできるのと里山空港	弱み (Weaknesses) ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？ ・「能登」の統一ブランド化と海外への認知度 ・後継者不足（伝統の担い手を含む） ・金沢からの二次交通（外国人に限らず。バス・タクシー等の整備） ・外国人の受入環境整備の遅れ ・資源の見せ方や情報発信力（オール能登の連携） ・資金や人材のリソース（市町域の枠を超えた連携）
外部環境	機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か？ ・北陸新幹線金沢開業による交通利便性の向上（2024 年春北陸新幹線敦賀延伸） ・金沢エリアの欧米豪の誘客 ・ネイチャー、ウェルネス、ロングステイ、スロー、ラグジュアリーといった新たな旅行スタイルの浸透 ・SDGs の浸透	脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か？ ・2024 年春の北陸新幹線金沢・敦賀間開業による沿線市町村への旅行者の流出 ・新型コロナウイルス感染拡大 ・国内及び当該地域の人口減少、高齢化 ・国内観光市場の頭打ち ・国内の広域観光圏域間での競争の激化 ・令和 6 年能登半島地震

※上記に加え、P E S T 分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

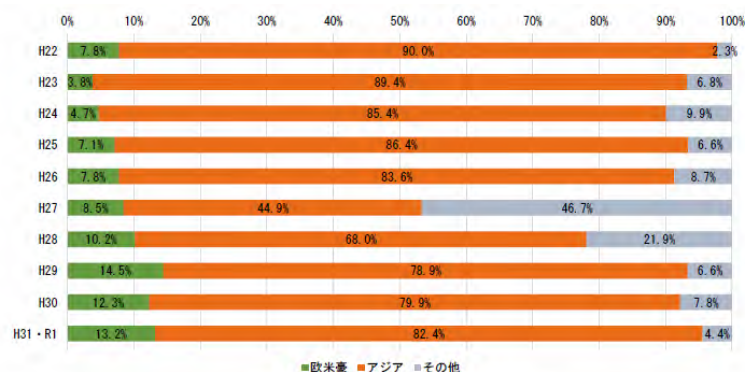
(3) ターゲット

○第1ターゲット層

欧州（英・仏） 30～50 代

○選定の理由

石川県では北陸新幹線金沢開業以降、欧米豪の入込が大幅に増加し、コロナ前の 2019 年には外国人旅行者全体の約 3 割を占めていた。能登地域においては、図に示すように外国人延べ宿泊者の国籍内訳ではアジアからの来訪が多い状況にあるものの、欧米豪の占める割合は着実に増加傾向にあり、能登と金沢などとの広域観光により欧米豪の誘客を推進したい。



図表. 外国人延べ宿泊者の国籍内訳

（令和２年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）「能登における with コロナ時代の自然・文化・社会等に加えて地域貢献に高い関心のある観光客の誘客に向けた基礎調査事業」報告書より）

また、近年台頭してきた新たな旅行概念として、レスポンスブルツーリズム、アドベンチャーツーリズム、サステナブルツーリズム等がある。それに加え、ポストコロナ後の変化として、旅先を決める上でのポイントとして、ネイチャー、ウェルネス、ロングステイ、スロー、ラグジュアリーといった新たな旅行スタイルが注目されている。能登半島広域観光協会にて、欧米・アジア等を対象にレスポンスブルツーリズムに関するヒアリング調査を行った結果、特に能登との親和性の高いレスポンスブルツーリズムへの反応が高かったイギリス・フランスをターゲットと設定する。

○取組方針

新型コロナウイルスの影響から自然や健康へのニーズ、および「サステナブルツーリズム（持続可能な観光）」への関心が高まっている中で、すでに実績のある台湾に加え、よりサステナブルツーリズムやレスポンスブルツーリズム等の地域貢献に関心の高い英・仏をターゲットに設定し、能登エリアのプロダクト開発、流通環境の整備、認知度の向上を進めていく。

プロダクト開発としては、宿泊施設や飲食店、体験アクティビティなどの能登エリアにすでにある商品・サービスを地域別、テーマ別、インバウンド対応の有無、デジタル化の有無などの視点から体系的に整理し、流通対策、プロモーションを展開するためのデータベースを構築する。それに加え、新たな魅力創出に向けて受入環境の充実および新規の商品・サービスの磨き上げと充実を図る。

流通環境の整備としては、各国市場において訪日旅行を企画するツアーオペレーターとのリレーション構築による商品造成や、旅行会社へのエデュケーション、旅行博出展、FAM トリップ等を行う。

認知度向上に関しては、目的地としての「能登の認知度」向上を図るため、対象市場におけるメディアリレーションの構築による広告に頼らないメディア露出を獲得しながら、SNS や WEB サイトの運用によるデジタルマーケティングを行う。

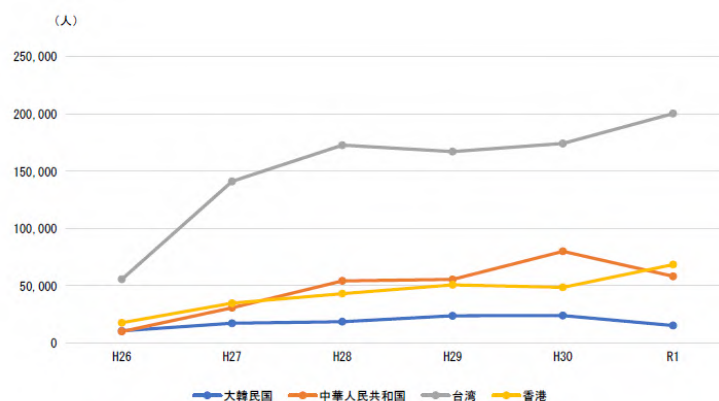
○ターゲット層

台湾を中心とした東・東南アジア地域

○選定の理由

石川県を訪れている外国人旅行者は、コロナ以前、台湾が最も多く、次いで中国、香港となっていた。特に台湾は、のと里山空港にチャーター便が就航しており、H30 年には 20 便 2,016 名の実績があった。

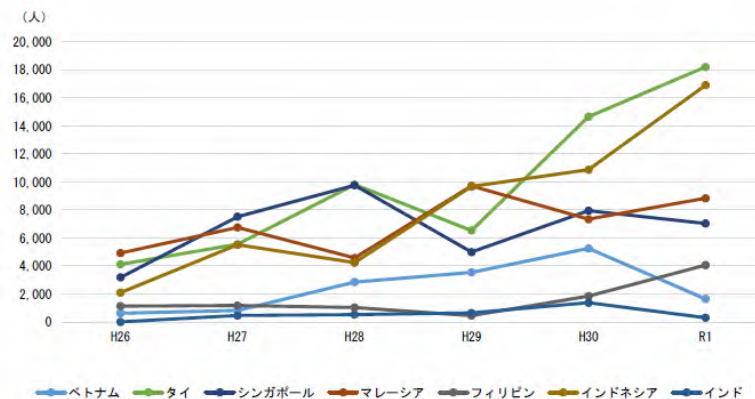
H27 年（2015 年）に広域観光周遊ルートに認められた、中部国際空港と小松・富山空港を結ぶ愛知・岐阜・富山・石川の 4 県域連携インバウンド観光ルート「ドラゴンルート（昇龍道）」での誘客も行われており、新型コロナウイルスの収束後も回復が見込みやすい。



図表. 石川県への国・地域別外国人旅行者数（東アジア）

（令和 2 年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）「能登における with コロナ時代の自然・文化・社会等に加えて地域貢献に高い関心のある観光客の誘客に向けた基礎調査事業」報告書より）

また、東南アジアからの旅行者をみると、タイ、インドネシアからの旅行者が増加傾向にある。



図表. 石川県への国・地域別外国人旅行者数（東南アジア）

（令和 2 年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）「能登における with コロナ時代の自然・文化・社会等に加えて地域貢献に高い関心のある観光客の誘客に向けた基礎調査事業」報告書より）

○取組方針

これまでの台湾チャーター便やドラゴンルート（昇龍道）の推進で培ってきた関係性を活かしながら、欧州同様に、基本となるプロダクト開発、流通環境の整備、認知度の向上を進めていく。

○ターゲット層

首都圏、中京圏、関西圏の三大都市圏のレスポンスブルツーリズム、アドベンチャーツーリズム、サステナブルツーリズム等に高い関心のある層

○選定の理由

石川県でも従来から首都圏、中京圏、関西圏の三大都市圏を重点ターゲットとして設定しており、全体で年間約 890 万人、約 3 割のシェアとなっている。また北陸新幹線金沢開業前までの能登地域の三大都市圏からの観光入り込み客数は H25 年 29.4%、H26 年 28.1%と 3 割を切っていたが、開業年である H27 年は 33.2%となり、その後も 3 割を維持している。（統計からみた石川県の観光より）

協会ホームページの地域別アクセス数では、1 位東京、2 位大阪、（3 位石川）、4 位神奈川、5 位愛知となっていることから三代都市圏、特に首都圏からの人気がある。のと里山空港には羽田ー能登便が就航しており首都圏からのアクセスも容易である。

○取組方針

欧州、東・東南アジア地域同様に、基本となるプロダクト開発、流通環境の整備、認知度の向上を進めながら、関係機関と役割分担を決め、ターゲットを意識した情報発信や受入体制整備などに取り組む。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	魅せられる、住み続けられる NOTO（能登地域に息づく価値を後世に受け継ぎ、地域全体として魅力を放ち、人が集まり、活性化している地域）
②コンセプトの考え方	「能登の里山里海」の資源価値を将来にわたって守り活かしていくには、能登に暮らす人々と来訪者がその価値を理解し、互いにリスペクトする「交流体験」が求められている。 GIAHS 認定地域である能登において「持続可能な観光」は親和性の高い概念であり、今後は、地域の魅力に対価を払う旅行者等、自然・文化・社会等に加えて地域貢献に高い関心のある旅行者を誘客することで環境・社会・経済面での持続可能な地域を目指す。 能登の里山里海の自然や文化を発信することに加えて、能登地域の住民の生活に価値を感じ、敬意をもって持続可能な関係を構築してくれる人との関係を構築していくとともに、市民レベルでの意識を醸成していく必要がある。 人が魅力を感じて集まり、地域が活性化し、住み続けられる能登地域に結びついていくことは、観光が持つ大切な要素であり、能登地域の市町や観光関連事業者が考える共通の意見である。 能登地域に息づく価値を後世に受け継ぎ、地域全体として魅力を放ち、人が集まり、活性化している NOTO Peninsula（：インバウンドの誘客も狙っていく意味を含む）を目指す。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	総会・理事会、能登マーケティング会議 （１）理事会・総会 理事会は年４回程度、総会は年１回開催。 能登半島の９市町の行政、観光協会・DMO、商工会議所・商工会、交通事業者等、観光に関連する多様な団体・事業者が参画し、事業や施策の成果を図る先行指標（KPI 指標）を報告し、評価、今後の方針についての意思決定を諮る。 （２）「能登マーケティング会議」（２～３カ月に１回程度） 次世代を担う観光事業者（経営者層、若手層）をメンバーとした会議で、直近およびトレンド予測データ等を持ち寄り、能登の将来の観光振興の企画検討を行う場として設置。トレンド情報や経営課題の共有、マーケティング及びプロモーション戦略を検討する。 以上の開催を通して、DMO としての取組の方向性や具体的な方策等についての検討や情報共有を行う。

観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	(1) セミナーや研修会の開催 商品サービスの質の向上及び数の充実を図るため、事業者向けのセミナーの開催や、市場ニーズに精通した専門家による研修会等を実施。 (2) 情報共有と評価のフィードバック プロモーション活動等で得た情報やニーズや、各種 KPI 評価を各市町や観光協会・DMO へフィードバック。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	(1) 観光可能な能登のスポット・施設等の PR ・能登半島地震後、営業再開した観光施設や飲食店等の各市町が有する能登地域内の主要コンテンツ、新規コンテンツ、ニュースを発信。 (2) WEB サイト、SNS の運用などのデジタルマーケティング ・季節や地域、テーマを適切に設定し、戦略的かつ効果的な情報発信を実施。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須K P I

指標項目		2021 (R3) 年	2022 (R4) 年	2023 (R5) 年	2024 (R6) 年	2025 (R7) 年	2026 (R8) 年
●旅行消費額 (百万円)	目標	57,000 (-)	68,000 (-)	100,000 (2,000)			
	実績	50,725 (60)	64,970 (223)	- (-)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	800 (-)	1,000 (-)	1,500 (30)			
	実績	840 (1)	1,167 (4)	- (-)			
●来訪者満足度 (%)	目標	()	()	85 (85)			
	実績	()	()	- (-)			
●リピーター率 (%)	目標	()	()	70 (70)			
	実績	()	()	- (-)			

※昨年度に収集の準備を進めていたものの、令和6年能登半島地震の発生によりデータ収集が不十分。
※今後については、全域での本格的な観光受入再開の見込みが立っていない状況ではあるものの、復興に向けたビジョンの議論に合わせて数値目標も改めて検討。

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※石川県観光統計（R5）が未公表であるため、R5については実績値未記入

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

R2年度、R3年度は新型コロナウイルスの影響が大きいことから、旅行消費額および延べ宿泊者数は、能登地域で有数の温泉地である和倉温泉のトレンドを参考に設定。R4年度以降は、コロナ禍以前の水準への早期回復を目的に、KPIの設定については、能登半島広域観光協会が主体となって調査を実施し、観光基礎データを収集・整理。また当区域の行政、観光・商工団体を構成員とした幹事会を開催し、目標値を検討・設定。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

石川県観光統計の観光消費額単価を使用して算出。

●延べ宿泊者数

石川県観光統計の数値並びに市町調査の数値を使用。

●来訪者満足度

石川県全体の満足度（「満足」及び「やや満足」の合計値）が高い評価のため、この水準を能登地域においても維持することとし85.0%を今後の目標値として設定。※今後、「観光地の満足度調査」（<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/manzokudochousa.html>）を参照し、能登エリアの各施設の協力を得ながらデータを収集していく予定。

●リピーター率

※今後、「観光地の満足度調査」

(https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/manzokudochousa.html) を参照し、能登エリアの各施設の協力を得ながらデータを収集していく予定。

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●住民満足度 (%)	目標	-	-	55	※昨年度に収集の準備を進めていたものの、令和6年能登半島地震の発生によりデータ収集が不十分。 ※今後については、全域での本格的な観光受入再開の見込みが立っていない状況ではあるものの、復興に向けたビジョンの議論に合わせて数値目標も改めて検討。		
	実績	(-)	(-)	(-)			
●関係地域事業者数 (者)	目標	170	180	190			
	実績	(-)	(-)	(-)			
●WEBサイトのアクセス状況 (PV) ※1	目標	2,500,000	3,000,000	3,500,000			
	実績	(-)	(-)	(-)			

※1 能登の観光サイト13サイトの総PV数

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

地域一体での取り組みを強化していくため、毎年度「関係地域事業者数」を漸進的でも増加させていく。加えて、能登地域への興味関心を継続的に伸ばしていくため、地域内外からの「WEBサイトPV数」を増やす。また、能登の観光地域づくりのコンセプトにあるように、住民への意識醸成と、来訪者と地域住民の良好な関係性を構築が持続可能な地域づくりであるとの理念から「住民満足度」をKPIとして設定。KPIの設定については、能登半島広域観光協会が主体となった調査実施による観光基礎データの収集ならびに当区域の行政、観光・商工団体を構成員とした幹事会を開催し、目標値を検討・設定。

【設定にあたっての考え方】

●住民満足度

地域の一般住民も対象としたセミナー・研修会、イベント等を行う際にアンケートを実施し、観光への意識や生活の満足度を把握。

●関係地域事業者数

多くのステークホルダーによる連携を実現するため、関係地域事業者数を目標として設定。会員数および、協会が行う各種事業（セミナー、ワークショップ、商品造成等）への参画者数を収集。

●WEBサイトのアクセス状況

能登地域内の観光ウェブサイトの総PV数を収集。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（Ｒ３） 年度	30,687,615（円）	【県からの補助金】 2,000,000（能登ふるさと博） 【県からの負担金】 700,000 【市町からの負担金】 2,400,000（能登デスク） 【その他負担金】 2,875,396（能登の旅情報センター） 【雑収入】 1,391,921 【会費】 16,097,000 【繰越金】 5,223,298 （円）
2022（Ｒ４） 年度	29,666,584（円）	【県からの補助金】 3,000,000（能登ふるさと博） 【県からの負担金】 700,000 【市町からの負担金】 2,400,000（能登デスク） 【その他負担金】 2,875,396（能登の旅情報センター） 【雑収入】 2,084,767 【会費】 15,691,000 【繰越金】 2,015,421 （円）
2023（Ｒ５） 年度	40,107,398（円）	【県からの補助金】 4,706,783（能登ふるさと博） 【国からの補助金】 5,132,913 【市町からの負担金】 2,400,000（能登デスク） 【その他負担金】 4,339,896（能登の旅情報センター等） 【雑収入】 3,585,712 【会費】 17,558,000 【繰越金】 2,384,094 （円）
2024（Ｒ６） 年度	30,910,600（円）	【県からの補助金】 4,500,000（能登ふるさと博） 【県からの負担金】 700,000 【市町からの負担金】 2,400,000（能登デスク） 【その他負担金】 2,800,000（能登の旅情報センター） 【雑収入】 122,105 【会費】 16,257,000 【繰越金】 4,131,495 （円）

2025 (R 7) 年度	30,910,600 (円)	【県からの補助金】 4,500,000 (能登ふるさと博) 【県からの負担金】 700,000 【市町からの負担金】 2,400,000 (能登デスク) 【その他負担金】 2,800,000 (能登の旅情報センター) 【雑収入】 122,105 【会費】 16,257,000 【繰越金】 4,131,495 (円)
2026 (R 8) 年度	30,910,600 (円)	【県からの補助金】 4,500,000 (能登ふるさと博) 【県からの負担金】 700,000 【市町からの負担金】 2,400,000 (能登デスク) 【その他負担金】 2,800,000 (能登の旅情報センター) 【雑収入】 122,105 【会費】 16,257,000 【繰越金】 4,131,495 (円)

(2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳 (具体的に記入すること)
2021 (R 3) 年度	28,672,194 (円)	【一般管理費】 20,981,100 【能登半島魅力強化対策事業】 1,991,000 【観光振興事業】 398,594 【負担金】 5,301,500 (円)
2022 (R 4) 年度	27,282,490 (円)	【一般管理費】 18,473,408 【能登半島魅力強化対策事業】 3,000,000 【観光振興事業】 447,582 【負担金】 5,361,500 (円)
2023 (R 5) 年度	35,975,903 (円)	【一般管理費】 17,394,102 【能登半島魅力強化対策事業】 3,675,852 【観光振興事業】 9,543,949 【負担金】 5,362,000 (円)
2024 (R 6) 年度	24,940,000 (円)	【一般管理費】 14,160,000 【能登半島魅力強化対策事業】 4,500,000 【観光振興事業】 1,000,000 【負担金】 5,280,000 (円)

2025（R7） 年度	24,940,000（円）	【一般管理費】 14,160,000 【能登半島魅力強化対策事業】 4,500,000 【観光振興事業】 1,000,000 【負担金】 5,280,000 （円）
2026（R8） 年度	24,940,000（円）	【一般管理費】 14,160,000 【能登半島魅力強化対策事業】 4,500,000 【観光振興事業】 1,000,000 【負担金】 5,280,000 （円）

（3）自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・能登の4市5町からの財政支援
- ・石川県や能登4市5町からのインバウンド誘客やプロモーション等事業委託
- ・旅行商品の造成、販売手数料
- ・地域商品販売手数料
- ・企業版ふるさと納税
- ・民間企業からの協賛金
- ・国等からの事業費支援
- ・仮設宿泊所運営委託

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町は、一般社団法人能登半島広域観光協会を能登半島における地域連携DMOとして登録したいので、一般社団法人能登半島広域観光協会とともに申請します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

- ・エリアが重複している地域連携DMO（公社）石川県観光連盟とは、連盟が実施する理事会、能登地域委員会に参加し意見調整を行っている。地域連携DMOである（一社）なお・なかのとDMO、地域DMOである（一社）志賀町観光協会とは、幹事会（年4回程度）を開催し、意見の調整を行っている。

【区域が重複する背景】

- ・（公社）石川県観光連盟は石川県内全域を区域とし、また（一社）ななお・なかのと DM0 は七尾市・中能登町エリアを区域、（一社）志賀町観光協会は志賀町を区域としている。このため（公社）石川県観光連盟が設定している能登・金沢・白山・加賀の 4 地域のうち、能登地域においてマーケティング・マネジメントする機能を当法人が担っている。

【重複区域における、それぞれの DM0 の役割分担について】

- ・地域 DM0 の（一社）志賀町観光協会や地域連携 DM0 である（一社）ななお・なかのと DM0 は、より地域事業者に近い存在であることを活かした新たな商品・サービスの造成や事業者の育成支援、県内プロモーションを主として担う。
- ・当法人は能登 4 市 5 町からなる広域エリアを周遊する様々なルートの選択肢を旅行会社に提供するとともに、海外への「NOTO」の認知度向上のためのプロモーションや流通環境の整備を行う。
- ・（公社）石川県観光連盟が実施する石川県（金沢・白山・加賀・能登）、北陸、中部エリアと連携するプロモーションに対して貢献する。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

- ・当法人が集中的にプロモーション活動等を担うことによって、市町の観光協会（DM0）は、商品・サービスの造成や事業者の育成支援に注力することができる。また当法人がプロモーション活動等で得た旅行会社、メディア、顧客の情報やニーズを各観光協会（DM0）へフィードバックすることで、商品・サービスの効果的なブラッシュアップが期待できる。

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	楠 茂浩
担当部署名（役職）	専務理事
郵便番号	929-2372
所在地	石川県輪島市三井町洲衛 10 部 11 番地 1 能登空港ターミナルビル 1 階
電話番号（直通）	0768-26-2020
FAX 番号	0768-26-2557
E-mail	kusunoki@notohantou.com

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	石川県
担当者氏名	高 尚也
担当部署名（役職）	文化観光スポーツ部国際観光課 専門員
郵便番号	920-8580

所在地	金沢市鞍月 1 丁目 1 番地
電話番号（直通）	076-225-1124
F A X 番号	076-225-1129
E - m a i l	ntaka@pref.ishikawa.lg.jp

都道府県・市町村名	七尾市
担当者氏名	立川 淳
担当部署名（役職）	産業部交流推進課 課長
郵便番号	926-8611
所在地	石川県七尾市袖ヶ江町イ部 25 番地
電話番号（直通）	0767-53-8424
F A X 番号	0767-52-2812
E - m a i l	koryu-s@city.nanao.lg.jp

都道府県・市町村名	輪島市
担当者氏名	永井 一成
担当部署名（役職）	産業部長兼観光課長
郵便番号	928-8525
所在地	石川県輪島市二ツ屋町 2 字 29 番地
電話番号（直通）	0768-23-1146
F A X 番号	0768-23-1856
E - m a i l	kankou@city.wajima.lg.jp

都道府県・市町村名	珠洲市
担当者氏名	田中 薫
担当部署名（役職）	観光交流課 課長
郵便番号	927-1295
所在地	石川県珠洲市上戸町北方 1-6-2
電話番号（直通）	0768-82-7776
F A X 番号	0768-82-5220
E - m a i l	kankou@city.suzu.lg.jp

都道府県・市町村名	羽咋市
担当者氏名	政氏 祥代
担当部署名（役職）	産業建設部商工観光課 課長
郵便番号	925-8501
所在地	石川県羽咋市旭町ア 200 番地
電話番号（直通）	0767-22-1118

F A X 番号	0767-22-7195
E - m a i l	syoukan@city.hakui.lg.jp

都道府県・市町村名	志賀町
担当者氏名	福田 秀勝
担当部署名（役職）	商工観光課 課長
郵便番号	925-0198
所在地	石川県羽咋郡志賀町末吉千古 1 番地 1
電話番号（直通）	0767-32-9341
F A X 番号	0767-32-3978
E - m a i l	shokan@town.shika.lg.jp

都道府県・市町村名	宝達志水町
担当者氏名	守田 幸浩
担当部署名（役職）	商工観光課 課長
郵便番号	929-1492
所在地	石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ 18 番地
電話番号（直通）	0767-29-8250
F A X 番号	0767-29-4623
E - m a i l	sho-kan@town.hodatsushimizu.lg.jp

都道府県・市町村名	中能登町
担当者氏名	岩田 正
担当部署名（役職）	企画情報課 課長
郵便番号	929-1792
所在地	石川県鹿島郡中能登町末坂 9 部 46 番地
電話番号（直通）	0767-74-2806
F A X 番号	0767-74-1300
E - m a i l	kikaku@town.nakanoto.ishikawa.jp

都道府県・市町村名	穴水町
担当者氏名	小林 建史
担当部署名（役職）	観光交流課 課長
郵便番号	927-8601
所在地	石川県鳳珠郡穴水町字川島ウの 174 番地
電話番号（直通）	0768-52-3790
F A X 番号	0768-52-2079
E - m a i l	kankou3@sec.town.anamizu.ishikawa.jp

都道府県・市町村名	能登町
担当者氏名	向井 豊人
担当部署名（役職）	ふるさと振興課 課長
郵便番号	927-0492
所在地	石川県鳳珠郡能登町字宇出津ト字 50 番地 1
電話番号（直通）	0768-62-8526
F A X 番号	0768-62-8507
E - m a i l	aburaya-k@town.noto.lg.jp

記入日： 令和6年8月19日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

石川県 輪島市、七尾市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

【設立時期】 昭和22年6月16日

【設立経緯】

③区域の観光協会がDMOに移行

【代表者】 多田 邦彦

【マーケティング責任者(CMO)】 米谷 涼子

【財務責任者(CFO)】 楠 茂浩

【職員数】 7人(常勤3人(正職員)、非常勤4人)

【主な収入】

会費18百万円、補助金・負担金17百万円(2023年度一般会計決算)

【総支出】

事業費16百万円、一般管理費17百万円(2023年度一般会計決算)

【連携する主な事業者】

(一社)金沢市観光協会、能登DMC合同会社 等



KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行 消費額 (百万円)	目標	57,000 (-)	68,000 (-)	100,000 (2,000)			
	実績	50,725 (60)	64,970 (223)	- (-)			
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	800 (-)	1,000 (-)	1,500 (30)			
	実績	840 (1)	1,167 (4)	- (-)			
来訪者 満足度 (%)	目標	()	()	()			
	実績	()	()	()			
リピーター率 (%)	目標	()	()	()			
	実績	()	()	()			

※昨年度に収集の準備を進めていたものの、令和6年能登半島地震の発生によりデータ収集が不十分。
※今後については、全域での本格的な観光受入再開の見込みが立っていない状況ではあるものの、復興に向けたビジョンの議論に合わせて数値目標も改めて検討。

戦略

【主なターゲット】

欧州(英・仏)、台湾を中心とした東・東南アジア地域、首都圏、中京圏、関西圏の三大都市圏のレスポンスブルツーリズム、アドベンチャーツーリズム、サステナブルツーリズム等に高い関心のある層

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

世界的に自然や健康へのニーズ、および「サステナブルツーリズム(持続可能な観光)」への関心が高まっている中で、基本となるプロダクト開発、流通環境の整備、認知度の向上を進めていく。

【観光地域づくりのコンセプト】

能登地域に息づく価値を後世に受け継ぎ、地域全体として魅力を放ち、人が集まり、活性化している地域

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・能登の祭りを活かしたローカルガイドツアーの造成
- ・北前船とアートで紡ぐNotoコミュニティツーリズムプロジェクト
- ・サステナブルコンテンツ造成 等

【受入環境整備】

- ・多言語解説の整備促進
- ・持続可能な観光地経営を実現するための体制構築 等

【情報発信・プロモーション】

- ・HP、SNS、パンフレット等による情報発信及び広報事業
- ・能登全体を一つのフィールドに見立て、地域一体となつて行われる様々なイベントの発信
- ・観光誘客宣伝の実施 等

祭りのガイドツアー造成



様々なイベントの発信

